

特定非営利活動法人 日本火山学会 2022年度 定期総会

2022年5月25日現在 維持会員数 282名
維持会員の1/3以上の出席で総会成立 $282/3=94$

フォーム等による出席・投票者数 120名 >94名であり、総会成立

議題1 2021年度決算案 および 2021年度決算に対する監査結果 (財務委員会)

- 名目および実質赤字46万円。
赤字額は、**コロナ禍**で各種事業が中止・オンライン化されたものの、例年並みに。
- 経常収入：1365万円（前年比+174万; 前々年比+68万）
増収は「火山」特集号の効果が大きい。
- 経常支出：1411万円（前年比+253万; 前々年比+38万）
当初予算に比べ支出は大幅に小。ただし前年度に比べコロナ禍影響は小。

2021年度決算(案)

ver.220504b

勘定科目名称	2021予算	2021実績	実績差異	備考
《経常増減の部》				
【経常収入】				
【会費収入】				
維持会員会費	2,735,000	2,810,000	75,000	
学術会員会費	4,640,000	4,800,000	160,000	
一般会員会費	925,000	931,000	6,000	
【会費収入】合計	8,300,000	8,541,000	241,000	
【寄付金収入】				
【寄付金収入】合計	0	0	0	
【補助金等収入】				
文部科学省助成金収入	700,000	366,195	-333,805	(公開講座講演会用, 2021は使いきれずに半分程度を返納)
【補助金等収入】合計	700,000	366,195	-333,805	
【事業収入】				
火山定期購読料	700,000	814,000	114,000	@11000×74
火山別刷販売金	200,000	1,795,938	1,595,938	特集号効果
予稿集販売金	200,000	102,814	-97,186	オンライン開催
書籍等販売金	300,000	50,414	-249,586	学会オリジナルノート販売
大会参加費等	1,360,000	1,837,000	477,000	オンライン開催
【事業収入】合計	2,760,000	4,600,166	1,840,166	
【その他収入】				
受取利息	300	137	-163	
雑収入	200,000	142,835	-57,165	著作権使用料等
【その他収入】合計	200,300	142,972	-57,328	
【経常収入】合計	11,960,300	13,650,333	1,690,033	

経常収入

(続く)

2021予算 2021実績 実績差異

【経常支出】

【事業費】

新型コロナウイルス感染拡大による影響大

経常支出

火山学に関する定期大会等の開催費

予稿集印刷費	200,000	195,855	-4,145	現地開催取りやめ(オンライン開催)のため。
予稿集発送費	50,000	17,574	-32,426	同
臨時雇賃金	300,000	44,275	-255,725	同
会場使用料・委託費	1,650,000	1,146,640	-503,360	同
旅費謝金	360,000	0	-360,000	同
通信運搬費	300,000	68,246	-231,754	同
機材借料	100,000	0	-100,000	同
現地討論会・交流会費	500,000	0	-500,000	現地討論会・交流会は中止。
雑費	800,000	139,357	-660,643	現地開催取りやめ(オンライン開催)のため。

火山学に関する定期大会等の開催費 合計 4,260,000 1,611,947 -2,648,053

会誌機関紙研究報告書等発行費

火山印刷費	3,760,000	3,509,171	-250,829
火山発送費	500,000	491,727	-8,273
別刷印刷費	200,000	142,285	-57,715
別刷発送費	30,000	21,300	-8,700
通信運搬費	20,000	12,544	-7,456
火山雑費	450,000	230,670	-219,330

会誌機関紙研究報告書等発行費 合計 4,960,000 4,407,697 -552,303

公開講座講演会等開催費

臨時雇賃金	50,000	9,600	-40,400	現地開催取りやめ(オンライン開催)のため。
旅費謝金	300,000	0	-300,000	同
通信運搬費	100,000	98,996	-1,004	
印刷費	250,000	60,573	-189,427	現地開催取りやめ(オンライン開催)のため。
雑費	400,000	201,048	-198,952	同

公開講座講演会等開催費 合計 1,100,000 370,217 -729,783

火山学の普及啓発に関する事業費

臨時雇賃金	8,000	0	-8,000	現地開催取りやめ(オンライン開催)のため。
旅費謝金	1,160,000	23,218	-1,136,782	同
通信運搬費	80,000	3,024	-76,976	同
印刷費	583,000	0	-583,000	同
雑費	214,000	385	-213,615	同

火山学の普及啓発に関する事業費 合計 2,045,000 26,627 -2,018,373

火山学に関する研究奨励表彰費

その他印刷費	50,000	14,570	-35,430	
奨励費	400,000	0	-400,000	国際奨励賞なし
雑費	50,000	30,307	-19,693	

火山学に関する研究奨励表彰費 合計 500,000 44,877 -455,123

他団体援助金支出

他団体援助金支出	800,000	400,000	-400,000	EPSと地学五輪は例年通り支出。サマスク支出なし。
他団体援助金支出 合計	800,000	400,000	-400,000	

(続く)

2021年度経理報告書(第12号) 第12号 経理報告書

経常支出(続き)

勘定科目名称	2021予算	2021実績	実績差異	備考
【期首・期末棚卸】				
売上原価	0	-120,103	-120,103	期首・期末棚卸高の差。「火山」在庫1年分増
【期首・期末棚卸】合計	0	-120,103	-120,103	
事業費 計	13,665,000	6,741,262	-6,923,738	
【管理費】				
給料手当	3,900,000	3,780,472	-119,528	
法定福利費	650,000	629,652	-20,348	
福利厚生費	10,000	7,160	-2,840	
旅費交通費	820,000	211,980	-608,020	理事会オンライン化等
通信運搬費	780,000	459,274	-320,726	
消耗品費	210,000	94,160	-115,840	
光熱水料費	120,000	89,910	-30,090	
賃借料	340,000	323,196	-16,804	
租税公課	150,000	135,706	-14,294	
支払手数料	840,000	814,512	-25,488	会計事務所
減価償却費	169,553	169,553	0	
徴収不能額	0	227,000	227,000	滞納除名者の未収会費
保険料	5,678	5,678	0	火災保険料1年分
雑費	760,000	420,873	-339,127	HP改修ほか
管理費 計	8,755,231	7,369,126	-1,386,105	
【経常支出】合計	22,420,231	14,110,388	-8,309,843	
当期経常増減額	-10,459,931	-460,055	9,999,876	46万円の赤字(例年並み)
《その他資金の部》				
【その他資金収入の部】				
【その他資金収入の部】合計	0	0	0	
【その他資金支出の部】				
【その他資金支出の部】合計	0	0	0	
《正味財産増減の部》				
当期正味財産増減額	-10,459,931	-460,055	9,999,876	
前期繰越正味財産額	33,125,496	33,125,496	0	
次期繰越正味財産額	22,665,565	32,665,441	9,999,876	年度末における正味財産(純資産)
固定資産額		21,444,235		
期末棚卸高		1,163,076		
前払費用		8,517		
前期繰越収支差額		10,604,540		
次期繰越収支差額		10,049,613	-554,927	内ACV(IAVCEI寄付)残金31万

監 査 報 告

特定非営利活動法人日本火山学会定款第6章第49条により、
2021年度の事業・会計収支状況、預金・為替等の帳簿を監査した結
果、適正に執行されていることを認めます。

2022年 4月28日

特定非営利活動法人日本火山学会 会計監事

風早康平 

武尾実 

議題2 2022年度予算案 (財務委員会)

今期もコロナ禍の影響が残る見込み

- 経常収入：1531万：前年度予算+335万円
前年より増額。秋季大会のハイブリッド開催（現地+オンライン）対応 = 大会参加費値上げ
- 経常支出：2263万：前年度予算+21万円
秋季大会はハイブリッド開催とし、オンラインは今期も業者委託予定（160万）。
- 収支差額：計算上は732万円赤字 → 実際はここまでの赤字にはならない想定。
……**余裕**をある程度取っている（ただし前年度より圧縮）+ **節約**等

引き続き節約を
お願いします

2022年度予算(案)

ver.220514

勘定科目名称	2021実績	2022予算	予算額差異	備考
《経常増減の部》				
【経常収入】				
【会費収入】				
維持会員会費	2,810,000	2,705,000	-105,000	2022/4/8時点での会員数
学術会員会費	4,800,000	4,564,000	-236,000	2022/4/8 時点での会員数
一般会員会費	931,000	910,000	-21,000	2022/4/8時点での会員数
【会費収入】合計	8,541,000	8,179,000	-362,000	
【寄付金収入】				
【寄付金収入】合計	0	0	0	
【補助金等収入】				
文部科学省助成金収入	366,195	0	-366,195	2022年度は不採択 (公開講座講演会用, 例年70~110万円採択)
静岡県東部地域コンベンションビューロー補助金	0	300,000	300,000	
【補助金等収入】合計	366,195	300,000	-66,195	
【事業収入】				
火山定期購読料	814,000	814,000	0	例年実績
火山別刷販売金	1,795,938	400,000	-1,395,938	例年実績(2021年度は特集号効果が大)
予稿集販売金	102,814	100,000	-2,814	例年実績
書籍等販売金	50,414	100,000	49,586	例年実績
大会参加費等	1,837,000	5,270,000	3,433,000	参加費(値上げ)301+団体展示26 +現地討論会120 +交流会80
【事業収入】合計	4,600,166	6,684,000	2,083,834	去年予算比+392
【その他収入】				
受取利息	137	200	63	
雑収入	142,835	150,000	7,165	著作権料など, 例年実績
【その他収入】合計	142,972	150,200	7,228	
【経常収入】合計	13,650,333	15,313,200	1,662,867	うち現地討論120・交流80

経常収入

(続く)

2021実績 2022予算 予算額差異

経常支出

【事業収入】合計	4,600,166	6,684,000	2,083,834	去年予算比+392
【その他収入】				
受取利息	137	200	63	
雑収入	142,835	150,000	7,165	著作権料など、例年実績
【その他収入】合計	142,972	150,200	7,228	
【経常収入】合計	13,650,333	15,313,200	1,662,867	うち現地討論120・交流80
【経常支出】				
【事業費】				
火山学に関する定期大会等の開催費				
予稿集印刷費	195,855	200,000	4,145	
予稿集発送費	17,574	20,000	2,426	
臨時雇賃金	44,275	300,000	255,725	
会場使用料・委託費	1,146,640	2,430,000	1,283,360	ハイブリッド開催:会場使用83+ハイブリッド委託160
旅費謝金	0	355,000	355,000	大会30,庶務5.5
通信運搬費	68,246	100,000	31,754	
機材借料	0	50,000	50,000	
現地討論会・交流会費	0	2,280,000	2,280,000	現地討論3万×20人×2回,交流6000円×180人
雑費	139,357	320,000	180,643	消耗品,クレジット決済,庶務7,余裕10
火山学に関する定期大会等の開催費 合計	1,611,947	6,055,000	4,443,053	うち現地討論120・交流108,余裕10;去年予算比+176
会誌機関紙研究報告書等発行費				
火山印刷費	3,509,171	3,920,000	410,829	火山276(69×4)、カラー負担66,余裕50; 紙代・印刷費の値上がり
火山発送費	491,727	550,000	58,273	
別刷印刷費	142,285	250,000	107,715	
別刷発送費	21,300	30,000	8,700	
通信運搬費	12,544	20,000	7,456	
火山雑費	230,670	450,000	219,330	J-STAGE関係:火山20 予稿集15 余裕10
会誌機関紙研究報告書等発行費 合計	4,407,697	5,220,000	812,303	余裕60
公開講座講演会等開催費				
臨時雇賃金	9,600	100,000	90,400	
旅費謝金	0	700,000	700,000	
通信運搬費	98,996	200,000	101,004	
印刷費	60,573	250,000	189,427	
雑費	201,048	200,000	-1,048	
公開講座講演会等開催費 合計	370,217	1,450,000	1,079,783	去年オンライン,今年現地;科研費が今年是不採択
火山学の普及啓発に関する事業費				
臨時雇賃金	0	8,000	8,000	防災0.8
旅費謝金	23,218	520,000	496,782	国際0(ACV無),学校10,防災10,将来20,GP5,事業7
通信運搬費	3,024	60,000	56,976	防災2、事業4
印刷費	0	330,000	330,000	防災(シンポ)8、活火山登山/パンフ25)
雑費	385	120,000	119,615	国際0、学校2、事業7.6、防災0.1、余裕2.3
火山学の普及啓発に関する事業費 合計	26,627	1,038,000	1,011,373	余裕2.3、将来20
火山学に関する研究奨励表彰費				
その他印刷費	14,570	50,000	35,430	各賞5(受賞8件)
奨励費	0	400,000	400,000	国際20x2
雑費	30,307	50,000	19,693	各賞5
火山学に関する研究奨励表彰費 合計	44,877	500,000	455,123	
他団体援助金支出				
他団体援助金支出	400,000	700,000	300,000	EPS20,地学五輪20,サマスク23.6,余裕6.4
他団体援助金支出 合計	400,000	700,000	300,000	余裕6.4

(続<)

経常支出(続き)

勘定科目名称	2021実績	2022予算	予算額差異	備考
【期首・期末棚卸】				
売上原価	-120,103	0	120,103	
【期首・期末棚卸】合計	-120,103	0	120,103	
事業費 計	6,741,262	14,963,000	8,221,738	余裕78.7
【管理費】				
給料手当	3,780,472	3,900,000	119,528	
法定福利費	629,652	650,000	20,348	社保
福利厚生費	7,160	10,000	2,840	健診
旅費交通費	211,980	220,000	8,020	通勤費21, 理事会旅費0, 余裕1
通信運搬費	459,274	450,000	-9,274	サーバ2, 電話10, 理事選挙4.2, 名簿1, 送料11, 富士火山送料10, 余裕7
消耗品費	94,160	210,000	115,840	コピー機トナー等
光熱水料費	89,910	120,000	30,090	
賃借料	323,196	340,000	16,804	マンション管理, コピー機リース, 他
租税公課	135,706	150,000	14,294	
支払手数料	814,512	840,000	25,488	会計事務所, 振込手数料
減価償却費	169,553	169,553	0	定額
徴収不能額	227,000	0	-227,000	
保険料	5,678	5,678	0	定額
雑費	420,873	600,000	179,127	HP改修20, 事務局18.5(会費, 封筒, ソフト等), 名簿管理費15.4, 余裕6.1
管理費 計	7,369,126	7,665,231	296,105	余裕14.1
【経常支出】合計	14,110,388	22,628,231	8,517,843	余裕92.8(去年より余裕を圧縮: 去年は余裕267)
当期経常増減額	-460,055	-7,315,031	-6,854,976	実際はここまでにはならない見込み(ただし200万円程度赤字の恐れ)
《その他資金の部》				
【その他資金収入の部】				
【その他資金収入の部】合計	0	0	0	
【その他資金支出の部】				
【その他資金支出の部】合計	0	0	0	
《正味財産増減の部》				
当期正味財産増減額	-460,055	-7,315,031	-6,854,976	
前期繰越正味財産額	33,125,496	32,665,441	-460,055	
次期繰越正味財産額	32,665,441	25,350,410	-7,315,031	前期繰越正味財産額+当期正味財産増減額
固定資産額	21,444,235	21,424,682	-19,553	前期額-減価償却+退職引当金支出(15万)
期末棚卸高	1,163,076	1,163,076	0	去年度実績
前払費用	8,517	2,839	-5,678	保険料未經過分
前期繰越収支差額	10,604,540	10,049,613	-554,927	
次期繰越収支差額	10,049,613	2,759,813	-7,289,800	次期繰越正味財産-固定資産-期末棚卸-前払費

2022年・理事選挙 開票結果

議題 3

役員選挙結果報告

開票日時	2022年3月14日(月) 9:00-11:45		
場所	産業技術総合研究所 第七事業所860号室		
出席者	選挙管理委員長	篠原宏志	
	選挙管理委員	鬼澤真也・長井雅史	
	立会人(2名)	風早竜之介・田口理恵	
	開票作業・補助員	岩橋くるみ・松本恵子 南 裕介・森田雅明	

有権者数	1,077
投票者数	416
有効投票者数	414
無効投票者数	2
有効投票総数	4,941
白票	1,269
無効投票総数	30
投票総数	6,240

順位	選挙人名簿番号	候補者・所属	候補者・氏名	得票数
1	4	東京大学地震研究所	市原美恵	355
2	8	国立研究開発法人産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門	下司信夫	344
3	10	アジア航測株式会社	千葉達朗	339
4	2	北海道大学大学院理学研究院附属地震 火山研究観測センター	青山 裕	334
5	9	気象研究所火山研究部	高木朗充	327
6	14	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育 センター	宮縁育夫	322
7	11	国立研究開発法人産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門	東宮昭彦	320
8	12	京都大学防災研究所	中道治久	316
9	13	国立研究開発法人防災科学技術研究所	藤田英輔	313
10	15	東北大学大学院理学研究科 地震・噴火 予知研究観測センター	山本 希	310
11	3	山梨県富士山科学研究所	石峯康浩	309
12	7	東北大学大学院理学研究科地学専攻	奥村 聡	308
13	1	東京大学地震研究所	青木陽介	295
14	6	鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会	大野希一	281
15	5	国立研究開発法人防災科学技術研究所	上田英樹	277

以上、当選

16(次点)	16	北翔大学教育文化学部教育学科	横山 光	191
			総投票数	4941

議題4 選挙管理委員会の任務修了の確認および選挙管理委員会の解散

議題3による役員選挙結果の承認を受けて、選挙管理委員会の任務が完了したことを確認し、選挙管理委員会を解散する。

議題5 2022年度役員（監事）人事

2022年度役員(監事)として、風早康平会員、武尾実会員を選出する。

議題 6 議事録署名人の選出

本総会の議事録署名人として、高木朗充・千葉達朗両副会長を選出することを提案する。

議決結果

議題1 2021年度決算案および2021年度決算に対する監査結果
賛成117、 反対1、 白票2

議題2 2022年度予算案
賛成117、 反対1、 白票2

議題3 役員選挙結果の承認
賛成118、 反対1、 白票1

議題4 選挙管理委員会の解散
賛成116、 反対1、 白票3

議題5 役員人事(監事)の承認
賛成116、 反対2、 白票2

議題6 議事録署名人の承認
賛成118、 反対0、 白票2

議題1～6はすべて承認されました。ご協力ありがとうございます。

報告 1. 2022年度日本火山学会各賞の授賞選考結果

2022年度の授賞の状況

- **学会賞** 1 件 (2021: 0件, 2020: 1件, 2019: 1件)
(表彰規程) 日本の火山学の発展に対し長年において特段の貢献のあった個人または団体に授与する.
- **普及啓発賞** なし (2021: 1件, 2020: 1件, 2019: 1件)
- **優秀学術賞** なし (2021: 0件, 2020: 0件, 2019: 2件)
- **研究奨励賞** 1 件 (2021: 1件, 2020: 0件, 2019: 1件)
(表彰規程) 火山学に関する優れた論文を発表し, 将来, 火山学の発展への貢献が期待される35才歳以下の本会会員 (受賞授賞対象年の4月1日で35歳以下の者) に授与する.
- **学生優秀論文賞** 1 件 (2021: 2件, 2020: 2件, 2019: 2件)
(表彰規程) 火山学に関する独創的で特に優れた論文を投稿時点において学生として筆頭執筆した本会会員に授与する.
- **論文賞** 2 件 (2021: 2件, 2020: 2件, 2019: 2件)
(表彰規程) 雑誌「火山」あるいは「Earth, Planets and Space」に掲載された論文中, 火山学に関する独創的で特に優れた論文の著者に授与する.

■ 日本火山学会賞 第12号

被推薦者：**篠原 宏志**

被推薦者所属：産業技術総合研究所・活断層火山研究部門

推薦者：大場 武、森 俊哉、風早竜之介、森田雅明

授賞対象となる研究課題名あるいは貢献活動名：

マグマ揮発性物質の観測・実験・モデリングに基づく火山現象解明への貢献

授賞理由：

篠原氏は、高温の火山ガスに含まれる塩化水素濃度を決める要因を解明するためメルトと流体相間の塩化物分配実験やモデル化を行い、塩化物の存在下では流体相のHCl/NaClは圧力が低いほど上昇することを明らかにするなど、火山ガス研究分野で国内外における火山学への多大なる貢献があった。その他にも、薩摩硫黄島での観測により着想を得た火道内対流モデルの提案等、独創的な研究成果による火山学への寄与にとどまらず、モニタリングの重要性をふまえた火山ガス観測手法の研究開発も行う等、国際的にも評価される火山ガス研究の第一人者であり、国内外を問わず本研究分野を牽引してきた。さらには、日本火山学会会長、IAVCEI執行役員や、JVGR誌等の国際誌の編集者を務め、国際的な火山学コミュニティにおける日本の地位向上に寄与した。

以上のように、日本の火山学の発展に対し長年において特段の貢献があった篠原氏を2022年度日本火山学会賞授賞者に選定する。

■ 日本火山学会研究奨励賞 第30号

被推薦者：**松本 恵子**

被推薦者所属：産業技術総合研究所・活断層火山研究部門

推薦者：篠原宏志、三輪学央、中村美千彦、下司信夫

授賞対象となる研究課題名あるいは貢献活動名：

火山噴出物組織の形成・分解過程に着目した噴火ダイナミクスの再構築

授賞理由：

松本氏の岩石の微細組織解析を主な手法とした研究成果は火山噴火現象の理解に大きく貢献している。また、熱履歴、酸化反応履歴を解析する研究手法も独自性が高い。これら手法を用いた火山噴火の時間推移の解明は火山学への重要な貢献であるとともに、噴火の現状把握や事後予測に関する情報の提供に資するものである。以上のように、火山学に関する優れた論文を発表し、将来も火山学の発展への貢献が期待されることから、松本氏を2022年度日本火山学会研究奨励賞授賞者に選定する。

■日本火山学会学生優秀論文賞 第9号

被推薦者： **村松 弾**

被推薦者所属：九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻
(2022年4月以降：東京大学地震研究所)

推薦者： **自薦**

授賞対象となる研究課題名あるいは貢献活動名：

Dan Muramatsu, Mie Ichihara, Takeshi Matsushima, Osamu Kuwano, Yasuhisa Tajima (2022) Surface eruptive dynamics of 2018 small phreatic eruption of Iwo-Yama volcano, Japan: Constraints from seismo-acoustic observation and mud suspension rheology. J. Volcanol. Geotherm. Res., 421, 107452, doi:10.1016/j.jvolgeores.2021.107452.

授賞理由：

本論文は、霧島山硫黄山の小規模水蒸気噴火のメカニズムを、火口近傍での空振・地震観測、及び映像記録に基づき解明した、独自性の高い研究成果である。得られた空振波形の特徴は噴出物のレオロジー特性の変化が支配するという仮説を実験結果も統合することで検証した点は独創的である。今後類似の噴火現象の観測やレオロジー理論によるモデリング、実験などを通して検証されるべき新たなフレームワークを示した。

以上のように、火山学に関する独創的で特に優れた論文を投稿時点において学生として筆頭執筆した村松氏を2022年度日本火山学会学生優秀論文賞授賞者に選定する。

著者： 市來雅啓、海田俊輝、中山貴史、三浦 哲、山本 希、森
田裕一、上嶋 誠

論文名： Masahiro Ichiki, Toshiki Kaida, Takashi Nakayama, Satoshi Miura, Mare Yamamoto, Yuichi Morita & Makoto Uyeshima (2021) **Magma reservoir beneath Azumayama Volcano, NE Japan, as inferred from a three-dimensional electrical resistivity model explored by means of magnetotelluric method.** Earth Planet Space, 73, 150, doi:10.1186/s40623-021-01451-y.

授賞理由：

傾斜変動の解析を基本としながら、地震発生場との比較、噴煙映像に基づく熱放出過程の解析との比較など、地下・地表面象を対象とした多項目観測に基づき、2018年本白根噴火の発生場をふまえた包括的モデルを提示した。傾斜データから地下で動いた熱水量を評価するとともに、気象レーダを使用して放出された熱水量の見積もりも行い、地下の熱水系の物質とエネルギー収支から現象を考察した新規性に富む論文である。

以上のように、火山学に関する独創的で特に優れた本論文を発表したTerada et al. (2021) を2022年度日本火山学会論文賞授賞者に選定する。

著者： 寺田 暁彦、神田 徑、小川康雄、山田大志、山本 希、大倉敬宏、青山 裕、筒井智樹、鬼澤真也

論文名： Akihiko Terada, Wataru Kanda, Yasuo Ogawa, Taishi Yamada, Mare Yamamoto, Takahiro Ohkura, Hiroshi Aoyama, Tomoki Tsutsui, Shin'ya Onizawa (2021) **The 2018 phreatic eruption at Mt. Motoshirane of Kusatsu-Shirane volcano, Japan: eruption and intrusion of hydrothermal fluid observed by a borehole tiltmeter network.** Earth Planet Space, 73, 157, doi:10.1186/s40623-021-01475-4.

授賞理由：

吾妻山の3次元比抵抗構造解析によってマグマ供給系を可視化したことに加え、比抵抗値から地下の流体の体積分率の推定、さらには熱水流体の存在、地殻変動源と比抵抗構造との位置関係の必然性を論じるなど、意欲的に考察を展開した。また、流体の割合をモニタリングすることで噴火の準備過程を把握できる可能性を示した点で、防災上も極めて重要な論文である。

以上のように、火山学に関する独創的で特に優れた本論文を発表したIchiki et al. (2021) を2022年度日本火山学会論文賞授賞者に選定する。

報告 2. 各賞選考委員会規程の修正

外部表彰の推薦の候補者選考等を所掌する委員会は、現在火山学会で規定されていない。

このような任務は各賞選考委員会が最も近いと考えられるため、委員会で検討を行い、規程を修正して同任務を各賞選考委員会で行うことを提案し、理事会で承認された。

■常設委員会設置規程

特定非営利活動法人日本火山学会各賞選考委員会規程

(修正前)

2. 各賞選考委員会は以下に関する任務を行なう。

- ・特定非営利活動法人日本火山学会表彰規程に定める各賞の選考に関する事項

(修正後)

2. 各賞選考委員会は以下に関する任務を行なう。

- ・特定非営利活動法人日本火山学会表彰規程に定める各賞の選考に関する事項
- ・特定非営利活動法人日本火山学会以外の団体・個人が行う表彰に係る推薦の候補者の選考等に関する事項

報告 会員動向

庶務委員会

会員動向：2022年5月23日現在

会員数 1027名（維持会員 282名、学術会員 633名、一般会員112名）
 （2021年春と比較して、-9名（維持会員-6、学術会員-8、一般会員+5））



報告 会員動向

庶務委員会

会員動向： 2022年5月23日現在

会員数 1027名（維持会員 282名、 学術会員 633名、 一般会員112名）

（2021年と比較して、-9名（維持会員-6、学術会員-8、一般会員+5））

報告 会員動向

新規入会者（2021年度臨時総会以降）

・学術会員 1名
市村美沙

・学術(学生)会員 4名
木尾竜也・武田歩真・田城陽菜・山口健介

・一般会員 2名
真木教雄・箕輪健太郎

報告 会員動向

逝去:5名 お悔やみ申し上げます。

・維持会員 2名

小宮学・渡辺一徳

・学会員 3名

佐藤俊一・田澤堅太郎・仲 二郎

報告 会員動向

2022年度・除名対象:9名 (5月23日現在)

・維持会員 2名
伊藤順一・眞島英壽

・学会員 3名
角井朝昭・鶴我佳代子・西辻和也

・一般会員 2名
都丸翔平・松本由佳

会費納入は学会ブースでも承っております

報告 会員動向

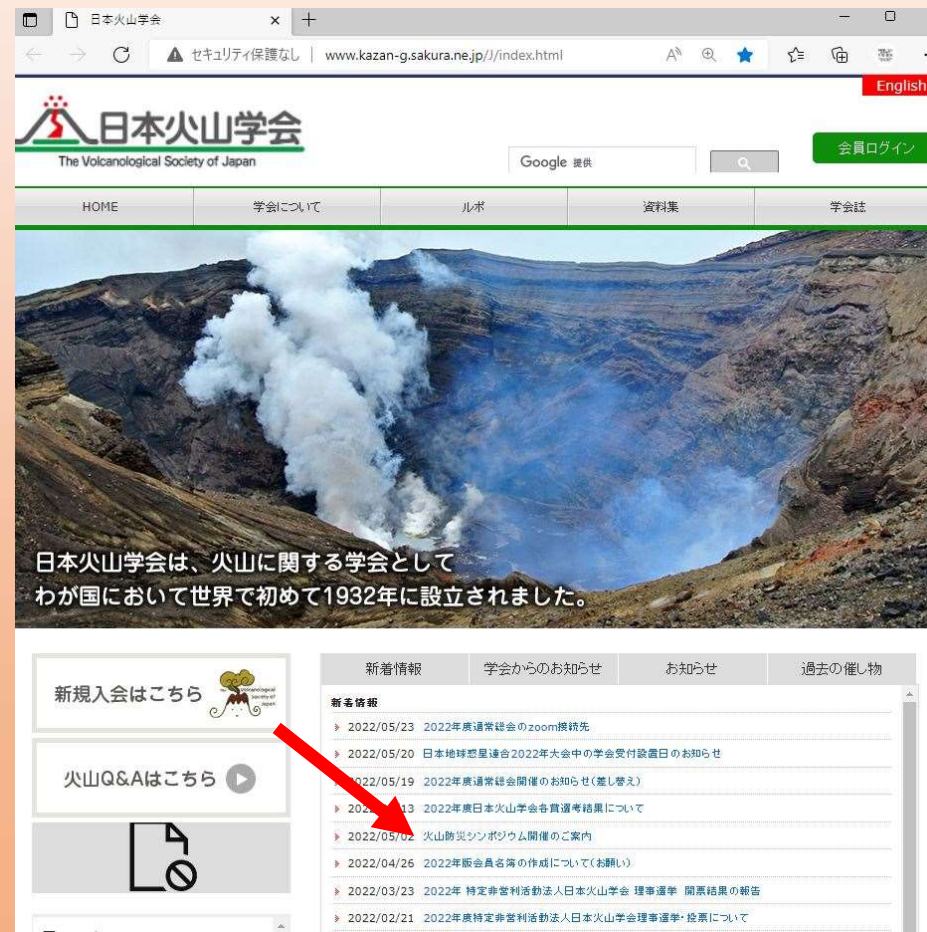
庶務委員会

会員名簿作成中

学会ウェブサイト 学会からのお知らせ にある会員情報の更新フォームから、
会員情報の更新をお願いします
フォームが利用できないときは、
学会事務局までお問い合わせください。

PDF化して、パスワード付きで
学会ウェブサイトに掲載します。

ご協力よろしく申し上げます。



The screenshot shows the website of The Volcanological Society of Japan. The main header includes the logo and navigation links. Below the header is a large image of a volcano with a red arrow pointing to a news item in the 'New Information' section. The news item is dated 2022/05/02 and is titled '火山防災シンポジウム開催のご案内' (Notice of the Volcano Disaster Prevention Symposium). Other news items include updates on the 2022 general meeting and the 2022 membership list update.

新着情報	学会からのお知らせ	お知らせ	過去の催し物
2022/05/23	2022年度通常総会のzoom接続先		
2022/05/20	日本地球惑星連合2022年大会中の学会受付設置日のお知らせ		
2022/05/19	2022年度通常総会開催のお知らせ(差し替え)		
2022/05/13	2022年度日本火山学会各賞選考結果について		
2022/05/02	火山防災シンポジウム開催のご案内		
2022/04/26	2022年版会員名簿の作成について(お願い)		
2022/03/23	2022年 特定非営利活動法人日本火山学会 理事選挙 開票結果の報告		
2022/02/21	2022年度特定非営利活動法人日本火山学会理事選挙・投票について		

2022年度秋季大会開催について

大会委員会

学術講演会日程変更

- 学術講演（ハイブリッド開催部分）を当初予定していた2022年11月3日（水）－5日（金）から
2022年10月12日（水）－14日（金）
に変更する。
- LOCでは2021年初頭には三島市を通して学術講演会場（三島市民文化会館）を特例で予約していた（通常は1年前から予約が可能）。
- 特例での予約が三島市民会館に見逃され、他の予約を入れてしまった。
- 複数の団体の予約であるために日程を変えてもらうための交渉は困難であることから、火山学会側が日程を移動することを決断した。

再発防止策

秋季大会の予約は、会場にとって特例として早期に予約されていることがあるため、予約が見逃される可能性がある。また、公的機関の場合、年度替わりで担当者が変わることがあるために予約が引き継がれない可能性もある。そのため、大会委員会・LOCと会場側で定期的に連絡を取る必要があるだろう。

予稿締め切り

- Webによる申し込み締め切り

2022年9月1日（木）午後4時

ウェブサイトは8月上旬にオープンする予定。

- 郵送による申し込み締め切り

2022年8月25日（木）必着

口頭発表

- 2022年10月12日（水） — 14日（金）にかけてハイブリッド形式で行う。
- 2会場で行うが、会場は十分に大きい（A会場1200名， B会場350名）ため入場制限などは行わない。
- 発表者が現地でのみ発表を行うかオンラインでの発表も認めるかについては未定。

ポスター発表

- **2022年10月12日（水）－14日（金）**に対面で、
10月17日（月）－19日（水）にかけてオンラインで行う。
- ポスター会場は密を避けつつ全てのポスター発表を行うほどのスペースはないので、対面とオンライン両方での発表を行う。
- 対面発表とオンライン発表を同日に行うと現地参加者のネット環境に問題が生じるので、対面発表とオンライン発表を別日に行うことにした。
- 対面発表は学生・若手研究者を優先とする予定であるが詳細は検討中。
- 対面発表をした者がオンライン発表をすることを義務とするかどうかは検討中。

交流会

コロナ前と同じように対面で行う予定であるが、詳細は未定。

一般公開行事

10月15日（土）もしくは11月6日（土）に行う予定。

現地討論会

富士山・伊豆半島で行う予定であるが、日程など詳細は未定。

参加費

社会人	10,000円（昨年度5000円）
学生	3000円（昨年度2000円）
シニア	3000円（昨年度2000円）
非会員	15,000円（昨年度7000円）

過去2年間のオンライン開催よりも会場費とハイブリッド開催委託料に余計に費用がかかる（今年度はハイブリッド開催であるため）ため、参加費の値上げが必要である。

2023年度秋季大会

2021年12月から2022年2月にかけて公募を行い、1件の応募があった。応募書類を審査した結果、秋季大会開催に問題がないという結論に至った。

開催時期（予定）

学術講演会：2023年10月18日（水）—20日（金）

現地討論会：2023年10月21日（土）

一般講演会・公開講座：未定

開催場所（予定）

学術講演会：かごしま県民交流センター

現地討論会：桜島火山

一般講演会：未定



日本火山学会

The Volcanological Society of Japan